

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D401	卒業研究 / EXゼミⅢ	4年	演習	4	和田佐英子
授業概要 本授業は、卒業論文作成・卒業研究の実施のために用意されたコマである。和田ゼミナールのテーマは、「少子化対策と多様な主体による協働による地方創生」である。ゼミ生たちは、この共通テーマの中で、それぞれが 研究調査を行い、卒業研究を取りまとめていく。本年度の4年生ゼミの共通テーマは、「結婚・恋愛」である。卒業研究では、「雑誌アンアン」のバックナンバーから、それぞれの時代の恋愛観・結婚観の変遷をまとめ、日本経済の移り変わりと恋愛観・結婚観の変化を読み解いていく。毎回発表を行い、それをレポートにまとめておく。秋学期には、取り纏めた内容を卒業研究とすべく、論文作成を行う。					
到達目標(学習の成果) 卒業研究を通じて、コミュニケーションの実践的方法を身に着けることができる。(DP1) 卒業研究を通じて、新たな情報創造の基礎となる専門的知識(少子化対策—結婚支援策)を身に着けることができる。(DP2) 卒業研究を通じて、様々な場で調査・研究・報告・発表を行い、社会とのつながりを強化する方法を身につけることができる。(DP4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	卒業研究のテーマ設定	各自の卒業研究のテーマについて、ディスカッションをする			
2	卒業テーマ報告	各自が現在検討している卒業テーマについて報告をし、今後の研究方針を決定していく。			
3	文献講読 ①	卒業研究の参考文献となる少子化対策・結婚・恋愛に関する文献を輪読する。			
4	文献講読②	卒業研究の参考文献となる少子化対策・結婚・恋愛に関する文献を輪読する。			
5	文献講読③	卒業研究の参考文献となる少子化対策・結婚・恋愛に関する文献を輪読する。			
6	雑誌 アンアンの研究	1970年代＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
7	雑誌 アンアンの研究	1970年代後半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
8	雑誌 アンアンの研究	1980年代前半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
9	雑誌 アンアンの研究	1980年代後半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
10	雑誌 アンアンの研究	1990年代前半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
11	雑誌 アンアンの研究	1990年代後半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
12	雑誌 アンアンの研究	2000年代前半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
13	雑誌 アンアンの研究	2000年代後半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
14	雑誌 アンアンの研究	2010年代前半＋日本の経済の動向＋雇用環境・社会環境			
15	雑誌 アンアンの研究	現代の恋愛・結婚観研究			
16	栃木県大学地域連携プロジェクト①	一日就活セミナーの主催			
17	栃木県大学地域連携プロジェクト②	連携プロジェクトの中間報告の準備			

18	栃木県大学地域連携プロジェクト中間報告会	「若者の人生選択と居住地選択」の研究報告
19	卒業研究報告 ①	1970年代から1980年代のレポートの取り纏め
20	卒業研究報告②	1990年代から2000年代の取り纏め
21	卒業研究報告③	2010年～現在までの取り纏め
22	卒業論文指導①	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
23	卒業論文指導②	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
24	卒業論文指導③	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
25	卒業論文指導④	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
26	卒業論文指導⑤	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
27	卒業論文指導⑥	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
28	卒業論文指導⑦	それぞれが作成中の卒業論文または卒業研究を毎回報告する。
29	卒業研究発表準備	卒業研究・卒業論文をゼミで発表する。研究発表会の報告準備を行う。
30	卒業論文発表・県での最終報告会	卒業論文を発表し、県でも最終報告会で報告する。

準備学修(授業外の自己学修)

卒業研究のゼミなので、ゼミの時間は、毎回ゼミ生の発表が中心となる。そのため、毎回、報告すべき内容の事前に準備してゼミに参加することが求められる。また、ゼミ修了後は、ゼミでアドバイスや指導された内容をもとに、毎回修正を加え、卒業論文・卒業研究を行う。

成績評価の方法・基準(%表記)

授業態度 30% 研究報告 30% 卒業研究・卒業論文 40%

観点	S	A	B	C
卒業研究を通じて、コミュニケーションの実践的方法(インタビュー・調査・報告・発表等)を身に付けることができる。	大変評価できる	かなり評価に値する	十分に評価できる	一定程度評価できる
卒業研究を通じて、卒論作成に必要な専門的知識(少子化対策・結婚支援策)を身に付けることができる。	完全に身に付けている。	ほぼ完全に身に付けている。	十分に身に付けている。	一定程度身に付けている。
卒業研究を通じて、調査・研究・報告・発表を行い、社会とのつながりを強化する方法を身につけることができる。	完全に身に付けている。	ほぼ完全に身に付けている。	十分に身に付けている。	一定程度身に付けている。

教科書 開講し、指示する。

参考書等 雑誌アンアン (1971～ 現在まで)

履修上の注意・学修支援

就職活動中の時期も、少しずつ、研究を積み重ねてほしい。